



臨床糖尿病支援ネットワーク

MANO a MANO



“mano a mano”とはスペイン語で“手から手へ”という意味です

新型コロナウイルス(COVID-19)2

【当法人理事】

国家公務員共済組合連合会立川病院
矢島 賢 [医師]

「この巻頭言は2020年4月6日に執筆している。この巻頭言は5月号なのでMANO a MANOに掲載されるときには新型コロナの状況は変わっているかもしれない。願わくば感染拡大の封じ込めが効を奏して終息に向かっていることを祈りたい。」と4月号の植木先生の巻頭言と同じ書き出しとしてみた。現在の状況は残念ながら終息に向かっているどころかわが国でも感染拡大、医療崩壊の瀬戸際に立たされている。当初話題の的とされていた中国、韓国、クルーズ船も今は昔。イタリア、スペインなど欧州での感染者、死者はその数が爆発的に上昇し中国の数を抜き医療崩壊に陥っている。4月6日現在世界181か国に感染者が存在している状況であり、世界一の大国であるアメリカでさえあつという間に感染者、死者も世界一となり窮地に立たされている。当初、新型コロナウイルス(COVID-19)は2%程度の致死率であり、死亡者数の多くは高齢者であることから高齢者への感染をいかに防ぐかという認識であったかと思う。ところが欧米での死亡者数がアジアよりも圧倒的に多くなり若年層でも死亡するケースも見られ、わが国の各地で感染経路が不明のクラスターが発生し志村けんさんといった著名人の感染、死亡が確認されることで緊張感はさらに高まってきている。そして政府は緊急事態宣言に踏み切る意向を固めた。

感染拡大防止の手段として各人には他人との接触を避けるため不要不急の外出の自粛(とくに密閉、密集、密接を避ける)、手指消毒、マスクの着用が要請されるほか、興行活動の中止や縮小、各店舗の営業時間の短縮、学童の休校措置などもあいまって経済、教育へのマイナス影響も深刻な事態を迎えている。風評被害や差別意識も感染者だけでなく自宅待機を要請されている海外渡航者や濃厚接触者さらには医療関係者にも向けられている。そんな逆境の中で我々はいろいろなことに対応してきている。国民が感染伝播や対処方法に関心をよせ意識し行動するようになったことは公衆衛生に福音となるだろうし、テレワークやオンライン診療、ロボットによる問診・回診などは働き方に大きな変化をもたらすに違いない。治療薬の臨床治験やワクチンの開発も現在進行中でありインフルエンザのような迅速な診断、診断確定時点での治療が近い将来可能になるだろう。

COVID-19のために活動自粛など制限を強いられている国民に、COVID-19の対策にあたっている政府関係者(とくに厚労省)、専門家会議の有識者の方々、地方自治体の関係者そして現場の医療スタッフにエールを送りたい。そしてここで述べたことも今は昔、と良い状況下で語られていることを切に願う。



読んで
単位を
獲得しよう

西東京糖尿病療養指導士(LCDE)は、更新のために5年間に於いて50単位を取得する必要があります。本法人会員は、会報「MANO a MANO」の本問題及び解答を読解された事を自己研修と見做し、**1年につき2単位**(5年間で10単位)を獲得できます。毎月、自分の知識を見直し、日々の療養指導にお役立てください。
(「問題」は、過去のLCDE認定試験に出題されたものより選出、一部変更しております。)

問題 CKD重症度分類で誤っているのはどれか、1つ選べ。(答えは3ページにあります。)

1. アルブミン尿区分と糸球体濾過流量(GFR)区分で重症度が分類される
2. CKD分類G5A3はGFR15 mL/min/1.73m²未満である
3. CKD分類G3aA1は糖尿病腎症第1期に相当する
4. CKD分類G2A1は糖尿病腎症第2期に相当する
5. 顕性アルブミン尿は尿アルブミン/Cr比(mg/gCr) 300以上である



報告

第46回糖尿病連絡会

日時: 令和2年1月22日(水)

場所: 公立昭和病院

1月22日(水)、公立昭和病院 2階講堂において、第46回糖尿病連絡会が開催されました。当日は医師・コメディカルを含め、30名の参加で盛況に終了することができました。

今回は「糖尿病とストレス」をテーマに、石橋クリニック 院長 石橋 幸滋先生に司会進行をして頂きました。小平仲町クリニック 院長 伊藤 敬雄先生より、ミニレクチャー①として、「糖尿病コントロール不良の精神科通院患者のケース報告と一考察」について、睡眠障害・QOLの改善と糖尿病コントロールの関連やより良い糖尿病コントロールに向けた取り組みについて、複数の症例を提示頂きながらご講演頂きました。また特別講演では、東京大学大学院医学系研究科 ストレス防御・心身医学 准教授 吉内 一浩先生より、「糖尿病とストレス:心療内科的アプローチの紹介」について、ご講演頂きました。精神疾患を有する患者さん



のより良い糖尿病コントロールの実現の為には、地域全体(医師・看護・福祉)で連携を行い、患者さんの治療の動機付けやサポートを行っていくことの重要性についてもご講演頂き、ご参加頂いた先生方からも医療連携・疾患管理等に関する多くのご質問やご意見が寄せられました。



報告

西東京CDEの会 第18回症例検討会

日時: 令和2年1月30日(木)

場所: 国分寺労政会館

【当法人会員】 町田市民病院 横内 砂織 [看護師]

1月30日(木)に『西東京CDEの会第18回症例検討会』が国分寺労政会館にて開催されました。今回は「働き盛りで肥満のある糖尿病患者の療養支援を考えよう～チーム医療で取り組む継続指導とは～」というテーマのもと、医師、看護師、管理栄養士、薬剤師、理学療法士の方々が集まりました。

まず初めに福島由香里先生より「将来的に重症化するリスクがある患者」として症例紹介を行っていただきました。症例は、働き盛りで高度肥満があり、食事療法に取り組んでも長くは続かないという事例で、皆さんが療養相談をする中でも一度は悩んだことのあるタイプの方ではないでしょうか。この症例に基づきご参加

いただいた皆様とグループに分かれ、症例検討を行いました。各職種ならではの視点に沿った貴重な意見が寄せられ、各グループから具体的なプランが挙げられ、グループの発表では様々な意見を共有することができました。次に辻野元祥先生から「チームアプローチで取り組む減量代謝手術」についてご講演いた

いただきました。糖尿病・高度肥満に対する手術治療については、初めて知る内容が多く、参加者も熱心に聴講されていました。終了時刻いっぱいまで参加者から質問が寄せられ、充実した会となりました。症例検討会では、ディスカッションを通して多職種のチームの力を実感します。今後の研修会に是非ご参加ください。



福島先生



辻野先生



日本糖尿病医療学学会 第3回関東地方会

令和2年2月9日(日)

川崎市コンベンションホール

[当法人理事]

神奈川県保健福祉大学 実践教育センター
和田 幹子 [看護師]

令和2年2月9日梅の花がほころぶ頃、川崎(武蔵小杉)のコンベンションホールで日本糖尿病医療学学会・第3回関東地方会が開催されました。今回の地方会は「糖尿病患者のこころを知る」というテーマで、大会長の寺内康夫教授(横浜市立大学内分泌・糖尿病内科学)の会長講演から始まりました。寺内先生は、糖尿病患者は『特定の属性に対して刻まれる負の烙印＝スティグマ』(社会的偏見による差別、差別されるのではないかとという恐怖)に苦しんでいる恐れがあるということと、糖尿病患者がスティグマを放置しないように、我々医療者が「患者のこころ」について意見交換をする必要があるということをお話されました。

一般演題は22本発表されました。医療者が糖尿病患者との関わりで悩んだことや学んだことなど様々な視点での発表があり、発表後のディスカッションでは、発表者が参加者に聞きたいこと、深めたいことが投げかけられました。そしてそこで出た意見が発表者に返され、また発表者から意見が述べられるという相方向的な質疑応答が繰り返されます。最後に座長からコメントがあり、1本24分或いは30分の枠での発表が終了するという形式をとりまします。大切なのはこの形式に則ることではなく「糖尿病患者と医療者との関わりをいかに落とし込むか」なのですが、医療学学会では発表者も座長も入念に準備をされていて毎回感銘を受けます。一般演題以外にも「糖尿病医療学」「糖尿病臨床心理学」「コーチング」「MI(動機付け面接)」などの基礎講座もあり、「患者のこころ」を考えた医療者にとって盛りだくさんのプログラムでした。私は「MI」の基礎講座に参加しました。MIは実際の面談で良い効果が得られた会話を体系化することにより生まれたもので、人間のアンビバレントな行動変容への影響を形成・強化する面接とのことです。本講座で「人が行動を変えるときはどんな時か」と投げかけられました。うまく行動を変えられた人は「こころの奥底で大切にしているものを語れた人」とのことです。医療者は糖尿病患者が心の奥底で大切にしているものをエネルギーにして行動を変えるためのお手伝いできればよいのかな…と思い、幾度も戻る原点に今回も帰着することができました。両価性や是認など人の一般的な性質を利用し、質問力を上げるなどのスキルはもっともっと磨いていきたいと思っています。

当法人でも「糖尿病医療学」的視点に着目し、西東京教育看護研修会等を通して「患者のこころ」について意見交換する機会があります。身近な地域でも糖尿病をもつ人、その人たちをケアする人、ケアする人をケアする人々のこころと行動に焦点を当てた学びを続けられることは私たちの強みだと思っています。今後も、医療学学会と当法人の研修をワクワクしながら行ったり来たりしたいと考えています。



事務局からのお知らせ



事務局へのお問い合わせは当法人ホームページで常時受付しております。ご返信にはお時間をいただく場合がございますが、順次対応させていただきます。お急ぎの方は平日の10:00~12:00/13:00~16:00にお電話ください。よろしくお願いいたします。

2020年度年会費の納入が、5月1日(金)より可能となりました。会員継続される方は、ご自身のマイページにアクセスいただき、7月31日(金)までに納入をお願いします。

***	2020年度年会費	***
納入期間	2020年5月1日(金)~7月31日(金)	
金額	5,000円	



読んで
単位を
獲得しよう

答え 4 下記の解説をよく読みましょう。

(問題は1ページにあります。)

解説 CKD重症度分類は、原疾患、腎機能(GFR)、蛋白尿・アルブミン尿に基づき分類される。原疾患が糖尿病の場合の蛋白尿区分は尿アルブミン値(mg/日またはmg/gCr)でA1:正常(<30)、A2:微量アルブミン尿(30~299)、A3:顕性アルブミン尿(≥300)と分類される。GFR(mL/分/1.73m²)区分はG1:正常(≥90)、G2:正常または軽度低下(60~89)、G3a:軽度~中等度低下(45~59)、G3b:中等度~高度低下(30~44)、G4:高度低下(15~29)、G5:末期腎不全(<15)と分類される。糖尿病腎症の病期分類の第1~3期はCKD分類のA1~3に合致し、第4期は尿アルブミン値にかかわらずGFR<30、第5期は透析療法期である。よって、選択肢4のみが誤り。

研究会等のセミナー・イベント情報

◆ 主催事業

◆ 共催・後援事業

□ その他

◆ 一般社団法人 臨床糖尿病支援ネットワーク 第67回例会

申込不要

テーマ：『糖尿病療養指導のネクストステージ～改めて見直す生活習慣～』

開催日：2020年6月23日（火）19：20～21：00

場所：国分寺市立いずみホール Aホール（JR中央線「西国分寺駅」下車 徒歩2分）

参加費：当法人会員 無料 / 一般 2,000円

参加費
無料

☆西東京糖尿病療養指導士認定更新のための研修単位：4単位

☆日本糖尿病療養指導士認定更新のための研修単位<第2群>：0.5単位申請中

☆日糖協療養指導医取得のための講習会：申請中

◆ 西東京CDEの会 第19回例会

申込必要

テーマ：『「新しい糖尿病診療ガイドライン」を解説します！～療養指導はどう変わる？～』

開催日：2020年6月27日（土）15：30～19：00

場所：府中市立中央文化センター ひばりホール（京王線「府中駅」下車 徒歩5分）

参加費：当法人会員 2,000円 / 一般 4,000円

申込：当法人ホームページの「セミナー・イベント情報」よりお申込みください。（6/17締切）

☆西東京糖尿病療養指導士認定更新のための研修単位：7単位

☆日本糖尿病療養指導士認定更新のための研修単位<第2群>：1単位申請中

◆ 第33回武蔵野糖尿病医療連携の会 学術講演会

申込不要

開催日：2020年6月27日（土）17：00～19：00

場所：地域保健企画ビル 6階会議室（JR中央線「立川駅」下車 徒歩12分）

参加費：医師 1,000円 / 医師以外 500円

問合せ：サノフィ(株) 担当：青柳 TEL：080-6627-7678

☆西東京糖尿病療養指導士認定更新のための研修単位：3単位

☆日本糖尿病療養指導士認定更新のための研修単位<第2群>：0.5単位申請中

◆ 2020年度 西東京糖尿病療養指導プログラム(CDEJ1群)

申込必要

第17回 西東京教育看護研修会

第5回 西東京臨床検査研修会

第17回 西東京病態栄養研修会

第5回 西東京運動療法研修会

第17回 西東京薬剤研修会

フリーコース

※教育看護研修会につきましては、本会場もしくはサテライト会場のどちらかを選択いただけます。

開催日：2020年7月12日（日）9：25～16：55（開場9：00）

場所：北里大学薬学部 白金キャンパス

（JR山手線「恵比寿駅」下車 徒歩20分 または 都営三田線「白金高輪駅」下車 徒歩13分）

参加費：申込時期によって価格が変わります。

早割[3/10～5/24] 6,000円 / 通常[5/25～6/30] 7,000円

申込：当法人ホームページの「重要なお知らせ」または「新着情報」の

「2020年度 西東京糖尿病療養指導プログラムのお申し込みはこちらから」より

お申し込みください。（6/30締切）

☆西東京糖尿病療養指導士認定更新のための研修単位：10単位

☆日本糖尿病療養指導士認定更新のための研修単位<第2群>：2単位申請中

☆日本糖尿病療養指導士認定更新のための研修単位<第1群>：申請中

※日本糖尿病療養指導士認定更新のための研修単位は<第1群>は、自分の職種である研修会に参加した場合のみ取得
できます。また<第1群>と<第2群>の単位はどちらか一方のみ認められます。

※フリーコースで取得できる単位は、西東京糖尿病療養指導士認定更新のための研修単位(10単位)のみとなります。

発行元

一般社団法人 臨床糖尿病支援ネットワーク事務局

〒185-0012

国分寺市本町2-23-5 ラフィネ込山No.3-802

TEL:042(322)7468 FAX:042(322)7478

https://www.cad-net.jp/

Email:w_tokyo_dm_net@crest.ocn.ne.jp

編集後記



まさか、こんなことになるなんて夢にも思わなかった。西東京で糖尿病に関わって約20年。研修会や委員会や・・・様々な場面で、皆様とは、なんだかんだで週1回、多い時には、週3回。「家族より会っているかも！？」が、日常茶飯事でした。もうすぐ2か月になります。早く思いっきり3密で皆様との活動が再開できますように。このMANO a MANOが公開される頃はどうかかな・・・。（広報委員 小林 庸子）